投 稿 規 定

2025. 1 改訂

1. 本誌は手術医学に貢献する投稿論文で，他誌に未発表なもの（原著，報告，総説，解説，症例報告，紹介など）および学術集会記録，学会告示，学会報告ならびに業務経過などを掲載する。
2. 著者および共著者は本学会員に限る（依頼原稿は除く）。総説は原則として編集委員会の依頼によるものとし，その著者は本学会員に限定しない。
3. 原稿は邦文または英文とし（付記 1. 参照），投稿方法は E-mail による送信とする。
   1）原稿に，投稿原稿チェックリスト（次の頁に掲載）を添付する。
   2）電子媒体として使用するファイルの種類は以下の通りとする。
      ①本文・図表の説明は，Microsoft Word で作成する。
      ②図表は，Microsoft Word，Microsoft Excel または Microsoft PowerPoint で作成する。
      ③画像は，JPEG または TIFF で作成する。
4. 原稿の採否は編集委員会にて決定する。編集委員会にて査読者の意見が付いたものは，3 ヵ月以内に再投稿する。
5. 掲載は受理順とする。
6. 原稿は初校を著者校正とし，誤字の訂正程度の 1 回のみとする。
7. 著作権・版権：本誌に掲載された論文の著作権・版権は，日本手術医学会に帰属する。
8. 論文投稿にあたり，「論文投稿のすすめ」（日本手術医学会誌 2022: 43; 108–111.）を参照する。また本会の HP にある論文作成のテンプレートが便利である。
9. 本誌は電子ジャーナルとして出版される。また図表を含めた記事の全文は，PDF 形式に加え J-STAGE では HTML 形式により閲覧可能である。
10. J-STAGE 登載は，出版から 1 年のエンバーゴ期間を設ける。

付記 1.（論文の書き方）

1. 表紙に，論文の種類（原著や報告など），表題，所属，著者名，住所，電話，FAX，E-mail address，キーワード（原著は 5 語以内，その他は 3 語以内），および別刷り希望部数（朱記）を記入する。
2. 原著には要旨として，邦文 900 字以内と英文 500 語以内を添付する。英文要旨は，表題，著者名，所属，住所，要旨の順とする。原著以外の論文には，200 ～ 600 字の邦文要旨を添付する。
3. 邦文原著の場合は要旨，はじめに（目的を含む），方法，結果，考察，結論，引用文献，図表，英文要旨の順とする。英文論文や他の論文は概ねこれに準ずる。
4. 倫理的配慮：人を対象とする医学系研究は，世界医師会による最新のヘルシンキ宣言に示された倫理規範を遵守する。また文部科学省および厚生労働省が提示する「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」を遵守する。倫理審査委員会等の承認を受けている場合は，その承認番号を記載する。
5. 利益相反：筆頭著者だけでなくすべての著者は，本学会 HP から「日本手術医学会誌　自己申告による COI 報告書」をダウンロードし，必要事項を記入して PDF にて提出する。開示すべき利益相反がある場合は，本文の末尾に関係する企業・団体名等を記載する。
6. 図表は，1 点あたり邦文 400 字，英文 200 語として換算する。また図表は 1 点ごと 1 枚に示す。画像の解像度は 300 dpi 以上が望ましく，図表 1 点ごとに説明文をつける。
7. 原稿の長さとして，原著と総説は，邦文論文では 10,000 字以内（図表，文献を含む），英文論文では 5,000 語以内（図表，文献を含む）とする。その他の論文は，邦文論文は 6,600 字以内，英文は 3,300 語以内とする（図表，文献を含む）。
8. 表題には商品名を用いない。やむを得ず文中に登録商標名を使用する際は，最初を大文字とし，商標名の末尾右肩に ® を付ける。
9. 邦文原稿の図表およびその説明は，邦文とする。

Presented by Medical*Online

10. 引用文献は原則として 20 編以内とし，引用順に本文の末尾に一括し，バンクーバー形式（Br Med J 1988; 296: 401–405.）で記載する。邦文誌名は省略せず正式名称を用いる。英文誌名は Index Medicus に従う。著者名が 6 名以内の場合は全員を記載し，7 名以上の場合は初め 3 名を記載し，以下は “ほか”，または “et al.” とする。著者のイニシャルの後のピリオドは不要である。引用文献における英文誌名や年，巻，頁の英数文字と句読点は，半角文字を用いる。WEB サイトから引用する際は，URL と参照日（西暦年月日）も記載する。

（例）

1）深澤佳代子，西村チエ子：手術室における看護事故の分析．日本手術医学会誌 1997; 18: 425–428.

2）尾家重治：消毒・滅菌に必要な器材，小林寛伊編集，厚生労働省保健医療局結核感染症課監修．消毒と滅菌のガイドライン．東京：へるす出版 1999; 116–126.

3）Horan TC, Gaynes RP, Martone WJ, Jarvis WR, Emori TG: CDC definitions of nosocomial surgical site infections1992: a modification of CDC definitions of surgical wound infections. Infect Control Hosp Epidemiol 1992; 13: 606–608.

4）Platt R: Guidelines for perioperative antibiotic prophylaxis. In: Abrutyn E, Goldmann DA, Scheckler WE, eds. Saunders Infection Control Reference Service. Philadelphia: W. B. Saunders Co 1997; 229–234.

5）厚生労働省．人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針ガイダンス．https://www.mhlw.go.jp/content/000769923.pdf（2021 年 7 月 12 日閲覧）

付記 2.（掲載料）

1. 規定字数以内は無料とし，超過分は実費を徴収する（1 頁あたり 12,000 円×頁分）。
2. カラー写真やカラー図表の投稿における追加費用は不要である。
3. 別刷りは有料とし，HP に費用を掲載する。表紙に必要部数を朱記する。

原稿送付先および連絡先：

日本手術医学会誌　編集事務局
E-mail: jaom-editorial@nacos.com
TEL: 03-3816-0738，FAX: 03-3816-0766
〒 113-0033　東京都文京区本郷 2 丁目 27 番地 16　大学通信教育ビル 5 階

Presented by Medical*Online

投稿原稿チェックリスト

【各項目を確認してからチェック（✓）し，原稿と一緒に送って下さい。】

□ 投稿規定を読み，内容を確認しました。
□ 著者・共著者全員が，投稿原稿の内容を確認しました。
□ 著者・共著者全員が，本学会会員です（依頼原稿は除く）。

□ 表紙に論文の種類（原著や報告など）を記載しました。
□ 表題（論文題名）に商品名は用いていません。
□ 表題（論文題名）は論文内容を的確に表現しています。
□ キーワード（原著 5 語以内・その他 3 語以内）は適切に選択しました。
□ 字数は，規定の範囲に収めました。

□ 要旨には，目的・方法・結果・結論を簡略に記載しました。
□ 本文は，
　○ はじめに（目的を含む）・方法（対象と方法）・結果・考察・結論・引用文献・図表，英文要旨の順に記載しました。
　○ はじめに（目的を含む）と方法を明確に記載し，これに対応する結果・考察・結論を記載しました。
　○ 統計学的分析を行った場合，検定方法と検定結果を明記しました。
　○ 略号を使用する場合は，最初に記載する箇所で，日本語・英語のフルスペルを併記しました。
　○ 商品名を記載する場合は，商品名の後ろに上付きで ®（registered trademark）を入れました。
　○ ページ番号を入れました。
□ 引用文献は，
　○ 引用順に番号を付けて本文の末尾に列記し，本文中の引用箇所にその番号を挿入しました。
　○ 投稿規定で規定・例示されている「形式・雑誌名・著者名の数」に従って記載しました。和文誌は正式名称を用いました。
　○ 引用文献の雑誌名，年，巻，頁番号の表記に誤りがないことを確認しました。
□ 図表は，
　○ 図表は 1 点ごと 1 枚に示しました。
　○ 図表番号を本文の説明箇所に挿入しました。
　○ 図は説明文を図の下に，表は説明文を表の上に記載しました。もしくは図表の説明は別紙に記載しました。
□ 患者や被験者を対象とした臨床研究では，倫理的配慮が必要な場合はその旨を，倫理審査委員会等の承認を受けている場合は承認番号を記載しました。
□ 著者・共著者全員が、「日本手術医学会誌　自己申告による COI 報告書」に必要事項を記入し PDF にて提出しました。
□ 開示すべき利益相反がある場合は，本文の末尾に関係する企業・団体名等を記載しました。
□ 再投稿の場合，査読者の「照会事項・意見」に対して，どのように応答したのかが分かるように回答書を付けました。

※ 投稿原稿について連絡事項等がありましたら，ご自由にお書きください。

Presented by Medical*Online